

栃木県の各市町では

**地域住民が一刻も早く対策を待ち望む深刻な課題を抱えた道路が
まだまだ沢山残っています！！**

1. 道路を歩く子供たちがいつも危険な状況にあります！ 【交通安全対策が必要】

代表事例



【路線及び箇所】県道熊田喜連川線 那須烏山市藤田・三箇地内
くまだきつれがわせん なすからすやましふじた ・ さんが

【現状及び課題】

通学路であるが、幅員が狭く交通量が多いため、大変危険な状態が続いており、平成20年1月には女子中学生が死亡する交通事故が発生している。

【地域住民の声】

「歩道があれば．．．もう犠牲者を出さないで」「早く整備して．．．子供たちが毎日利用している」（下野新聞：女子中学生両親）

このほか
県内において対策が必要な箇所

市町数	31市町
-----	------

要対策 箇所数	227箇所
------------	-------

概算対策 事業費	約1,810億円
-------------	----------

2. 交通事故の起かない安全な道路にしてください！
【交通安全対策が必要】

代表事例



このほか
県内において対策が必要な箇所

市町数	21市町
-----	------

要対策箇所数	103箇所
--------	-------

概算対策事業費	約740億円
---------	--------

【路線及び箇所】県道足利館林線 足利市野田町地内
あしかがたてばやし あしかがしのだちょう

【現状及び課題】

県道にもかかわらず直角カーブが5箇所連続しており、大型車交通量が多く、過去5年間に人身事故5件、物損事故40件と多発している。

【地域住民の声】

足利トラックセンターが近い大型車が多く、直角カーブの箇所では反対車線にはみ出して曲がる形になるので対抗車は見通しも悪く非常に危険である。とにかく事故の多い道路である。近隣には久野小学校があり一部通学路にもなっているので、早期の対策をお願いしたい。（久野地区自治会より）

3. 落石等による事故が起かない安全な道路が必要です！
【自然災害対策が必要】

代表事例



このほか
県内において対策が必要な箇所

市町数	5市町
-----	-----

要対策箇所数	6箇所
--------	-----

概算対策事業費	約210億円
---------	--------

【路線及び箇所】国道400号 那須塩原市中塩原・下塩原地内
なすしおぼらし なかしおぼら・しもしおぼら

【現状及び課題】

度重なる落石・土砂崩れや異常気象時の全面通行止めなど、住民や観光客の安全で円滑な通行に多大な支障を来している。

【地域住民の声】

現国道400号の災害に対する脆弱性や慢性的な渋滞、通学児童・生徒の安全確保等、早期のバイパス整備に対する強い要望が相次いで出されている。（塩原地区の自治会長をはじめ地域住民36名が参集した市政懇談会）

4 . 狭い道路しかなく救急車や消防車が家の近くまで来られません！
【生活確保対策が必要】

代表事例



このほか
県内において対策が必要な箇所

市町数	20市町
要対策箇所数	88箇所
概算対策事業費	約1,110億円

【路線及び箇所】宇都宮大学東南部地区一帯 宇都宮市平松本町ほか3町地内
うつのみやし ひらまつほんちょうほか3ちょう

【現状及び課題】

本地区内の道路は狭隘であり、車両のすれ違いや緊急車両（救急車、消防車等）の進入が困難な状況にある。

【地域住民の声】

現在の道路は、車同士のすれ違いが容易にできず、緊急車両の進入にも支障をきたしております。狭隘な生活道路を一刻も早く解消し、安全で安心な暮らしができるよう早急に対策をお願いしたい。（峰地区まちづくり懇談会等での声）

5 . 激しい渋滞でイライラして困っています！
【生活確保対策が必要】

代表事例



このほか
県内において対策が必要な箇所

市町数	23市町
要対策箇所数	75箇所
概算対策事業費	約2,700億円

【路線及び箇所】国道123号 茂木町三坂地内
もてぎまちみさか

【現状及び課題】

「ツインリンクもてぎ」での国際的イベントの開催と施設拡充により交通量が急増しており、激しい渋滞に見舞われています。

【地域住民の声】

市街地の渋滞解消に向け、円滑な通行の確保と沿線住民や通行者の安全と利便性を確保するため、バイパスの全線開通を早期にお願いしたい。（三坂地区14名の町民が参集した地域座談会）

6. 道路の冠水や橋の老朽化などを改善し、安全で安心な通行を守ってください！
【生活確保対策が必要】

代表事例



このほか
県内において対策が必要な箇所

市町数	11市町
-----	------

要対策箇所数	36箇所
--------	------

概算対策事業費	約290億円
---------	--------

【路線及び箇所】町道2-332号ほか7路線 壬生町六美地内

【現状及び課題】

六美地区内の町道には側溝もないことから、大雨時には道路が冠水してしまい、人も車も通行できなくなります。地元消防団等が警戒にあたり、床上浸水に備え土のう積み等の対策を実施している状況です。

【地域住民の声】

現状では安全で安心した暮らしに支障があることから、側溝を含めた道路整備が地域住民の長年の悲願です。（六美町中央、六美町北部、六美町南部自治会の3自治会連名による雨水対策要望）

7. 地域の活性化を支援する道路を求めています！
【活性化対策が必要】

代表事例



このほか
県内において対策が必要な箇所

市町数	22市町
-----	------

要対策箇所数	72箇所
--------	------

概算対策事業費	約880億円
---------	--------

【路線及び箇所】国道119号 日光市石屋町～上鉢石町地内
にっこうしいしやまち～かみはついしまち

【現状及び課題】

世界遺産「日光の社寺」への参道となっているが、幅員が狭く電柱等の支障物が多いなど観光客等が散策しづらい環境にある。

【地域住民の声】

国道119号の歩道は、段差やデコボコがひどく生活道路としても観光道路としても不具合がある。門前町、「日光の表玄関」としてふさわしい道づくりの早期実現を要望します。（上鉢石町自治会長、中鉢石町住民）